

ボラセン福祉まつり開催!!

昨年に続き2回目となるボラセン福祉まつりが去る1月19日、あさぎりの郷杉の木ホールを会場に開催されました。子どもさんから大人まで、大勢の方が会場を訪れ楽しみながら、福祉に触れる時間を過ごすことが出来ました。来年も開催いたしますので、皆さん是非お出かけください。



手話体験

福祉クイズ
スタンプラリー

オープニングイベント
ハニーベルコンサート

ほらふきの会の
皆さんによる皿回し

勤労協共催
ミニSL乗車体験

点字体験

手打ちそば・おはぎ試食

うまいもん市

平成24年度 赤い羽根共同募金結果報告

募金総額 **2,380,258円**

◆戸別募金 1,712,796円

皆様から心のもった募金をいただきありがとうございます。大切に活用させていただきます。募金活動でご協力いただいた自治会、隣組長様には大変お世話になりました。

◆法人事業所募金 570,331円

景気低迷にもかかわらず、商店、企業などの皆様にはご支援いただきありがとうございます。また、募金ボランティアとして訪問していただいた皆様には大変お世話になりました。

◆職域募金・イベント・街頭 97,131円

職域（役場・社協）募金ありがとうございます。ふるさと祭りで募金して下さった皆様、本当にありがとうございました。

町中のみなさん、
ご協力ありがとうございました。



◎募金の配分金をうけて25年度では
次のような事業を実施する予定です。

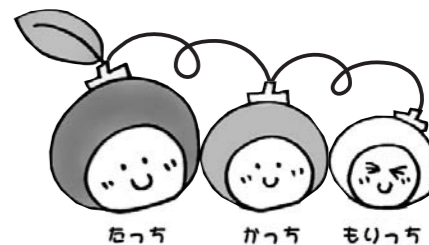
- 地区ふれあい広場事業
- 福祉教育、学習体験事業
- 福祉視点による防災支援事業
- 団体活動補助事業
- 県共同募金会の事業

◆平成26年度赤い羽根共同募金配分金を受けて事業を行いたい団体を募集しています。

- 募集期間：平成25年3月1日～平成25年5月31日
- 申込・問い合わせ：共同募金会高森町支会 電話・有線 34-3717

社協たかもり

※社協だよりは町民の皆様からの会費により発行されています。



心もいきいき! かいこの教室

もっと知りたい!

認知症

〜ご本人とご家族の
安心のために〜

毎年、3回シリーズで開催されています「かいこの教室」。今年度の「かいこの教室」の第1回目が、去る1月19日に開催されました。講師の磯村政範氏（特別養護老人ホーム木曾あすなろ荘所長補佐）には、認知症を持つ高齢者の理解についてお話をいただきました。

行動には思いがある

認知の症状にはいろいろな行動パターンが見られます。帰る人。怒る人。迷う人。探す人。食べたい人等々。



「認知症だから」と、完結してしまいがちですが、例えば、帰りたい人にとつて、今は、子どもが帰ってくる時

間を心配する世代に遡っている状態。だから帰りたくなる。その人の行動の背景にある思いを想像してみよう。

人間関係の障がい

認知症になると困ることとは、関わり方によって訪れる人間関係の不幸。それが問題になります。

具体的な対応の7つのポイント

- ①まずは見守る
- ②余裕を持って対応する
- ③声をかける時は一人で
- ④後ろから声をかけない
- ⑤相手に視線を合わせてやさしい口調で
- ⑥穏やかにはっきりとした滑舌で
- ⑦相手の言葉に耳を傾けてゆっくりと対応する

価値を見出す

関わりを持つ時間は、負担なのか。今を楽しみ、認知症の高齢者との関わりに価値を見出すことが大切です。

今回38名ほどの方に参加いただきましたが、参加された方から「実際の事例や経験をもとにユーモアのあるお話は、分かりやすかった。」などの感想をいただきました。



尚、2月17日(日)13時半から「かいこの教室」第3回目も替えてさっぱりオムツと着替えがあさぎりの郷杉の木ホールにて開催されます。お気軽にご参加ください。

介護者リフレッシュ交流会のお知らせ

要介護1～5の方を在宅で介護をされている方のリフレッシュ交流会を行います。多くの方の参加をお待ちしています。

- ◇2月25日(月) 9時～16時半頃
ふるさと一座の観劇と「湯元ホテル阿智川」の旅
- ◇募集人員/50名
- ◇申込締切/2月18日(月)

申し込み・問い合わせ
高森町ボランティアセンター
電話 34-3001 有線 45-8000

※申込用紙は社協のホームページからダウンロードできます。

高森町社会福祉協議会

電話・有線34-3717 FAX35-9589
Eメール t-shapc1@takamori.ne.jp
HP <http://www.takamori-shakyo.com/>